

千葉市議会議員(若葉区選出)

秋山あたる

未来立憲民主ちば会派



mail : info@akiyama-ataru.com
web : https://akiyama-ataru.com

秋山あたる

発行元：秋山あたる後援会
〒264-0005
千葉市若葉区千城台北3-3-10 シティハイムチシロ 102
電話番号 090-3819-3784

政策・理念 +α SDGs の普及・推進

私は、若葉区をより豊かな街にするための3つの政策「生活・地域」、「教育・文化」、「福祉・健康・安全」、+α「SDGsの普及・推進」を掲げています。

SDGs (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標) は、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標です。2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択されました。「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。



SDGsには17の目標があります。人権、経済・社会、地球環境、さまざまな分野にまたがった課題が分類されています。貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会など、持続可能な開発のための諸目標を達成すべく力を尽くします。

私個人のみならず千葉市議会への信頼と期待を頂けるよう市議会報告してまいります。

ご意見や感想をお待ちしております。誰もがわかりやすい市政に努めてまいります。地域のために小さなことでもお気軽に声をかけて頂けたらと思います。

秋山あたる

千葉市議会で一般質問をしました。

01 オリンピック・パラリンピックのレガシー

令和4年 第1回千葉市議会定例会・一般質問

「オリンピックパラリンピックレガシー」

オリンピック・パラリンピックの開催が決まると、開催予定都市において各種の施設やインフラの整備、スポーツの振興等が図られ、社会に生み出される持続的な効果がレガシーです。

多様性に対応した共生社会を実現する

千葉市は7競技の開催地となりました。東京2020大会のレガシーとして、パラスポーツの推進、オリパラ教育、ボランティア文化の成熟など、これまでの取組が今後も継続されることで、レガシーとして本市の発展につながるものと考えます。

特にパラスポーツは、共生社会の実現に向けた取組として、重点的に取り組み、引き続き障がい者が身近な場所でスポーツを実施できる環境の整備に努めるよう要望しました。

秋山あたるの提言

- ①幼少期から様々なスポーツに取組、継続的な活動へつながるよう学校に在籍している障がいを持つ児童生徒に対して、スポーツが定期的にできる環境や支援を丁寧に行う。
- ②障がい者が地域のスポーツ活動に参加するためのつなぎ役として、コーディネーターが障がいの種類・程度に応じたスポーツの紹介やサークル活動へのマッチングを行う「ちばしパラスポーツコンシェルジュ」の拡充。
- ③障がい者スポーツ指導員の資格保有者が活躍できる場の確保に努めるよう要望。



秋山あたるプロフィール



1991年10月9日生まれ 千葉市出身
2004年 千葉市立更科小学校卒業
2007年 千葉市立更科中学校卒業
2009年 アメリカ・シルバード公立高校交換留学
2011年 千葉県立千城台高等学校卒業
2013年 ワタナベエンターテイメントカレッジ卒業
2019年 千葉市議会議員選挙(若葉区選出)
27歳で初当選 4,321票

2019年度 保健消防委員会
2020年度 総務委員会 環境審議会委員
2021年度 都市建設委員会 都市計画審議会委員
広報委員会委員
2022年度 環境経済委員会 副委員長
「幹を強くする千の葉の会」ボードメンバー
「校則と児童生徒指導を考える地方議員連盟」事務局長
【その他】
舞台・朗読劇で松方弘樹氏や若林豪氏と共演
千葉県テニス選手権・ダブルス 優勝

02 スポーツ公園の価値向上×地域創生

スポーツ公園の管理・運用

令和4年 第1回千葉市議会定例会・一般質問

千葉市蘇我スポーツ公園は、JR 蘇我駅から徒歩 10 分程の距離にあり、その中心にあるフクダ電子アリーナは、市民から「フクアリ」の愛称で親しまれています。今年の春にはジャパンジャム、そして夏にはロックインジャパンフェスティバルが開催されるなど、平常時には、にぎわいの拠点として、災害時には防災拠点としても大いに活躍が期待されます。

スポーツ公園の役目と価値向上

大型の都市公園にある大規模なスポーツ競技場は、スポーツを通じた市民の憩いの場であると同時に競技大会の場に供し、多くの市民にスポーツを観戦、応援する機会を提供する役目があります。フクダ電子ヒルスコートは、テニスコート 20 面を有し、千葉県テニス選手権や千葉市テニス選手権大会が毎年開催、中高生のテニス県大会などの会場となっています。また、日本のトップレベルの選手が集まる毎日新聞主催の毎日テニス選手権大会やソフトテニスの国別対抗戦アジアソフトテニス選手権大会が開催されました。大きなイベントや国際大会が誘致できれば、スポーツ公園の価値が向上し、地域創生につながり、スポンサー企業の価値の向上と社会貢献につながると考えます。

現状の課題

供用開始から約 11 年、コートの人工芝は劣化しています。部分的な修繕がされていますが、継ぎ目がプレーへの影響があり、転倒など怪我の要因となっています。コートコンディションが良好ではないため、大会開催を他会場への変更を余儀なくされた例もあります。公園整備には、選手の怪我防止にコートコンディションが高く保たれている必要があり、大会を安定的に実施する観点からも、計画的な改修が必要です。



「千葉市蘇我スポーツ公園」
今年度で全工程が完了し、フクダ電子アリーナを中心にサッカーフィールド 5 面（サッカー、フットサル、ラグビー、ラクロス等）テニスコート 20 面、軟式野球場 6 面（少年野球、ソフトボール）、ランドゴルフやスケートボードなど、様々なスポーツを堪能できる公園となりました。

秋山あたるの提言

1. フクダ電子ヒルスコートのコート全面の張りかえを要望し、稼働率の高い北側の 10 面について、来年度に全面張りかえの実施を計画するとの回答を得る。
2. フクダ電子ヒルスコートを早期に張替工事に着手することを要望。来年度には千葉県スポーツセンターのテニスコートのクラブハウスの改修工事を行うため、工事期間が重なり、各団体の大会開催に支障がないよう千葉県と協議・調整が必要。
3. 施設の改善点を利用者からの WEB によるアンケートを実施し、利用者の声を反映できる環境づくりに取り組むことを要望した。

03 市制100周年について

令和4年 第1回千葉市議会定例会・一般質問



『百の歴史を、千の未来へ』をキャッチフレーズに様々な100周年事業を行いました。

1921 年（大正 10 年）に市政施行により「千葉市」が誕生して 100 周年をむかえました。令和 2 年から 3 年にかけて市民、行政、経済界などが 100 年の節目で振り返るとともにこれから未来の 100 年のまちづくり

を考える機会、協業につながる様々な記念行事を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響が大きかったものの、オンラインの活用など様々な工夫をし、当初予定していた全 637 事

業のうち 518 事業を実施しました。

秋山あたるの提言

- 提言 1：**まちづくりは、市民をはじめ、多様な主体が参加していける環境づくりが大切です。パブリックコメントやワークショップをはじめ、市民が参画できる環境づくりに、これからも引き続き努めていただくよう要望しました。
- 提言 2：**令和 4 年は、政令指定都市移行 30 周年を迎えます。2 年間の市政 100 周年記念行事で市民や団体、企業と連携しながら培ってきた様々な成果を十分に活用し、政令指定都市移行 30 周年の記念事業を積極的な取組を進めるよう要望しました。

秋山あたる後援会より

ご支援・ご協力をお願い

秋山あたるは、「若葉区を千葉市を誰もが住んでよかった！」と感じるまちづくりを目指しています。

秋山あたるを応援いただける方は、右記「秋山あたる公式サイト・サポーター登録」へのQRのリンクから登録、または事務所までご連絡していただき、ご意見やコメントをお寄せください。



「幹を強くする千の葉の会」

千葉県知事熊谷俊人氏と連携する市町村議員が新たなネットワークで千葉県の特徴を活かし、更に伸ばしていくことを目指す団体です。秋山あたるは事務局の中心として積極的に参加しています。

